

スーパースポーツから通勤用まで共通する、Honda二輪車スタイリングの思想は、各製品の目的に沿った「機能美の表現」です。スタイリングするには、各部品が持つ機能一つ一つに深い理解が求められ、スポーツバイクの場合「操りやすさ」に大きく貢献しています。

そして今回、最も「操る楽しさ」の進化を求められる“RR”と名の付くモデルにおいて、この「機能美の表現」から、さらに踏み込み「乗る前から走りの感動を伝える形」を具現化すべく取り組んできました。

この新世代のスタイリングのあり方を追求する造形テーマを「スピードシェイプ」とし、これに基づき2015年の「第44回東京モーターショー2015」にCBR250RRのプロトタイプを“Light Weight Super Sports Concept”として出展し、お客様から大きな期待が寄せられました。

CBR250RRのスタイリングのねらいは

力強さと速さを直感させる独自の存在感

これを実現するために、開発チーム全員が各技術領域の枠を超えて、車体骨格検討の段階からより早く、より深く機能のデザインに関わりました。それにより外観のみならず、骨格までも美しさを備えた、従来とは一線を画す独自の存在感を持った新世代のスタイリングへと昇華させました。

■車体骨格スケッチ

